

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

5-1B 特定保健指導情報ファイル
(医療保険者→国)
仕様説明書
Version 4

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
2. 概要	3
2.1 本文書の位置付け.....	3
本文書と既存の仕様説明書との相違点.....	3
2.2 記載内容の優先度.....	4
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	4
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	4
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報.....	4
2.3.3 HL7 CDA規格との関係.....	4
3. 特定保健指導情報ファイル仕様	5
3.1 全体構成の概要.....	5
3.2 ヘッダ部.....	6
3.2.1 名前空間.....	6
3.2.2 CDA管理情報.....	7
3.2.3 保健指導管理情報.....	7
3.3 ボディ部.....	13
3.3.1 保健指導報告区分とCDAセクションの関係.....	15
3.3.2 指導共通情報セクション.....	16
3.3.3 指導初回①情報セクション.....	20
3.3.4 指導初回情報セクション.....	25
3.3.5 指導集計情報セクション.....	29
3.3.6 最終評価情報セクション.....	35
3.3.7 指導機関情報セクション.....	39
4. OID表	45

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2008.07.10	V1.0	初版
2009.03.30	V2	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><利用券情報の必須化></p> <p>本仕様変更は、利用券を発行せず特定保健指導を実施する場合、特定健康診査と特定保健指導を対応付ける情報がファイル仕様上に存在ため、どの年度の特定健康診査に基づく特定保健指導であるかが不明確となる問題点が存在する。特定保健指導の基となる特定健康診査の実施年度を明らかにするために、保険者から支払基金への実績報告時に、利用券情報を必須化し、利用券整理番号の先頭2桁で基となる特定健康診査の年度を識別できるように変更する。</p> <p>保険者が特定保健指導実施機関に特定保健指導情報ファイルに格納すべき利用券整理番号を指定することができる。また、保険者において支払基金への実績報告時に利用券整理番号の振り直しを実施することもできる。</p> <p style="text-align: center;">仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.4 受診券・利用券情報 <p><積極的支援における支援Bの任意化></p> <p>積極的支援において、支援Bの実施を任意とする。</p> <p style="text-align: center;">仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.3.4.1 セクション部仕様 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※特定保健指導情報ファイル仕様書（医療保険者への提出用）におけるV2への改訂にあわせた改訂。 ※仕様に変更はないが上記仕様書のバージョン番号をあわせるためバージョン2に番号を更新。</p>
2017.03.31	V3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.1 全体構成の内容の図に指導初回①情報セクションを追加 • 仕様書中の「支援レベル」を「保健指導区分」に修正 • 3.2.3 保健指導管理情報のNo3.1に報告区分コード「25」の説明を追加 • 3.2.3.4 受診券・利用券情報にセット券の説明を追加 • 3.2.3.4 受診券・利用券情報の表9-1のNo9.6.1に動機付け支援相当の場合「4」を設定する旨、及び初回面接を特定健診と同日に実施している場合の注釈を追加 • 3.3 ボディ部の説明及び表12に指導初回①情報セクションを追加 • 仕様書中の「6ヵ月評価」を「3ヵ月評価」に修正 • 3.3.1 保健指導区分とCDAセクションの関係の表14に指導初回①情報および初回未完了時の欄を追加 • 仕様書中の保健指導情報（個票）項目番号を新規に振りなおした番号に修正

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書中の保健指導区分に「動機付け支援相当」「モデル実施」を追加 ・3.3.3 指導初回①情報セクションを追加 ・「3.3.6 委託先機関情報セクション」から「3.3.7 指導機関情報セクション」に変更 <p>また、支援 A および支援 B のみでなく初回面接、中間評価、実績評価においても指導機関情報を出力し、保険者直営実施の場合においても必ず情報が出現する旨を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導機関情報の出力項目に実施内容を追加。保健指導機関番号および保健指導機関名から「委託先」の文言を削除。 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・仕様書の適用範囲を平成 30 年 4 月 1 日以降に実施される特定健康診査に基づく特定保健指導に修正 ・章構成を変更（最終評価情報セクションを 3.3.6 章、指導機関情報セクション 3.3.7 章に変更） ・その他既存誤記及び見栄え修正
2020.03.31	V3.1	<p><本仕様書の適用範囲> オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、本文書を保険者から支払基金への実績報告用にのみ使用することとし、報告項目の見直し結果を反映させた。</p> <p>■XML 仕様上に関係する修正</p> <p><実績報告の顕名化および項目の見直しに伴う修正></p> <ul style="list-style-type: none"> 3.2.3.4 受診券・利用券情報 <ul style="list-style-type: none"> ・表 9「9.6.1 @extention」に記録する受診券整理番号を必須項目から省略可能項目に変更 3.2.3.5 保健指導実施情報 <ul style="list-style-type: none"> ・健診実施情報の仕様との相違点として出現させない項目を記載 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に修正 ・仕様書の適用範囲を令和 2 年度の法定報告に修正 ・各種サンプル XML の日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正
2023.03.31	V4	<p>■XML 仕様上に関係する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援 A、B を廃止し、支援としたことに伴う説明修正 ・モデル実施廃止による記載削除 ・初回面接実施に「2：1 週間以内（当日は除く）」の選択肢を追加したことに伴う記載修正 ・保健指導開始後服薬判明による初回未完了、途中終了の記載を修正（表 14-1 保健指導区分とセクションの関係の注釈） <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・特定保健指導項目の情報を「XML 用特定保健指導項目情報」に整理することに伴い、項目表の記載削除 ・2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・本資料内の表番号の付番整理

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		・その他既存誤記及び見栄え修正
--	--	-----------------

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version4）は、令和6年度分の法定報告（令和7年11月1日までに実施する法定報告）に係る特定保健指導情報ファイルから適用される。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

特定保健指導情報ファイル(医療保険者→国) 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施されている特定保健指導において、電子的なデータ標準様式に基づいて「特定保健指導」に関する実施情報を医療保険者が国に報告する際に使用する仕様について詳細に説明することである。

保険者は、本仕様に準拠したデータを作成し、報告を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

表1 参考資料

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省特定健診プログラム改定版	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
健診実績報告仕様書	2	本文書と対になる文書で、特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目情報		保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、2008年度から実施されている特定保健指導の実施情報を、医療保険者が国に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

本文書で定義される特定保健指導情報の仕様は、「特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書」（以下、「健診実績報告仕様書」と記載する）の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を参照する形で説明されており、本文書では保健指導に固有の部分についてのみ説明している。従って、本文書を読むに先立つて必ず「健診実績報告仕様書」を読む必要がある。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、すでに公表されている健診機関から保険者に特定保健指導の結果情報を報告するための仕様と基本的には同一である。

仕様上の異なる部分は、本通知では提出不要となった特定保健指導情報項目についてその仕様の削除、および報告項目が異なるための仕様変更である。仕様の削除の中には、これまで必須または任意に存在してよいとされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として「特定保健指導情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」と異なる部分は、1）上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2）実績報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、3）実績報告として必要となった情報に対応する仕様変更の3点である。なお、1）に関する削除箇所にはそれがわかるように当該箇所での注釈等を記載している場合がある。

なお、本文書に対応するXMLスキーマファイルは、「特定保健指導情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」とともに公開されているXMLスキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定保健指導情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応するXMLスキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくてもよい（出現がオプショナル）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 報告 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1 報告）ごとに 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1 報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、利用者を識別するための情報など）が含まれている。

1 人の利用者の 1 報告ごとに 1 電子ファイルとし、複数報告もしくは複数利用者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数報告もしくは複数利用者の実施情報を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報

本標準フォーマットは、2008 年度から実施される特定保健指導の実施情報を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA 規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格¹に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

本仕様書では、XML タグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。

¹ ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

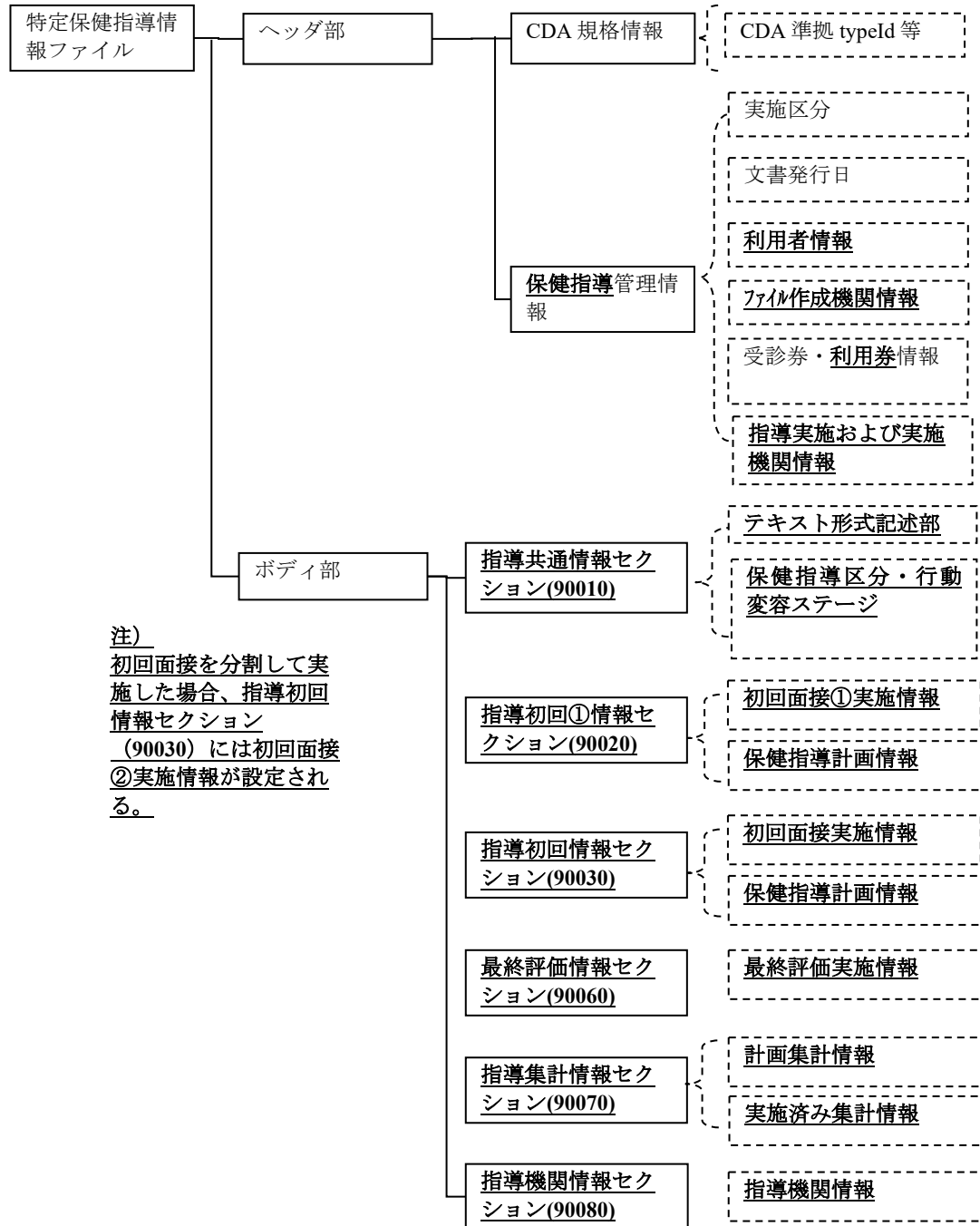
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3. 特定保健指導情報ファイル仕様

※図表中で「健診実績報告仕様書」との相違の主要部分は太字下線で示している。

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作成日）

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

情報、作成者情報、記録対象者（利用者）情報、**利用券情報**などの保健指導管理情報から構成される。

ボディ部には、**指導計画や指導実施に関する情報**が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の部分を除き同一である。

当該部分を、健診実績報告仕様書と異なる部分に下線を引いて、以下に引用する。

==引用開始==

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn:hl7-org:v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様書のスキーマファイルは「hg08_V08.xsd」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の V08 は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark

（BOM）と呼ばれる 3 バイト EF BB BF (16 進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないので、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生成している可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は V08 で統一する。下記の例で示すように、hg08_V08.xsd とするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を V08 に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： ../XSD/hg08_V08.xsd

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納さ

れるフォルダ XSD は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

==引用終了==

3.2.2 CDA 管理情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一である。

3.2.3 保健指導管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、保健指導管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	<u>10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コードである。すなわち</u> <u>22:すべて完了して国に保健指導実績を報告する場合</u> <u>23:特定保健指導途中終了確定時に国に保健指導実績を報告する場合</u>	<u>10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コード</u>	1..1	M
3.2	@codeSystem	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない		0..1	O
4	effectiveTime	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したことから取り扱う日。		1..1	M
4.1	@value	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 「YYYYMMDD」。		1..1	M
5	confidentialityCode	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。		1..1	M
5.1	@code	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコードのニーモニック。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。		1..1	M
5.2	@codeSystem	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。		0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。使用するには守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。			
6	recordTarget	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 <u>利用者情報</u> 。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。		1..1	M
7	author	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。		1..1	M
8	custodian	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、0 節のように記述するものとする。		1..1	M
9	participant	<u>利用者の受診券と利用券</u> に関する情報。詳細は、3.2.3.4 節に記載。		0..2	O
10	documentationOf	<u>保健指導実施情報</u> 。詳細は、3.2.3.5 節に記載。		1..1	M

ヘッダ部のサンプルは省略する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 利用者情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・住所情報(patientRole/addr) を出現させない。

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。

3.2.3.4 受診券・利用券情報

利用券整理番号と受診券整理番号の情報が記述される。そのため、/ClinicalDocument/participant 要素が最大 2 回繰り返される。

受診券情報か利用券情報かの区別は、/ClinicalDocument/participant/functionCode/@code で識別される。要素の出現順序ではない。受診券整理番号を空欄としたい場合にはそれを記述するための本要素

/ClinicalDocument/participant は出現しない。

利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも、以下のとおり記載する。したがって/ClinicalDocument /participant 要素の出現は、利用券整理番号だけ記述する場合には出現回数は 1 となる。

特定健診当日から 1 週間後まで（健診実施日を 0 日として 7 日後まで。例えば月曜日に特定健診を受診した場合は、健診当日から次の月曜日まで）に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。また、特定健診当日に初回面接を実施した場合、利用券情報の利用券整理番号には、受診券の整理番号（種別番号「5」）を設定するため、注意する。

表 8 受診券情報へのマッピング項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"] /associatedEntity/ id/@extension
利用券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="2"] /associatedEntity/ id/@extension

利用券情報の XML 仕様は、健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「/ClinicalDocument/participant」を「/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"]」とする。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

表9 受診券情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="1"]		0..1	O
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	受診券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「 受診券整理番号 」に対応する文字列。数字11桁固定。	0..1	O
9.6.2	@root	本来は受診券整理番号のためのOIDを設定する属性であるが、本仕様では省略する（属性を出現させない）。 保健指導機関情報から受領するファイルにはOIDが設定されており、そのOIDには受診券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。 属性が出現しない	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券を発行した保険者の保険者情報 要素が出現しない	0	X

利用券情報のXML仕様は、表9の受診券情報と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「受診券」を「利用券」に読み替える（下記表10では置き換え済み）。
- ・「券面種別コード」が1ではなく2となる。
- ・「健診」を「保健指導」に読み替える（下記表10では置き換え済み）。
- ・「/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"]」を「/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="2"]」とする。

表10 利用券情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="2"]	利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも必ず出現させること	1..1	M
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	利用券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	利用券券面種別コードを示す「2」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	利用券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	利用券と発行者の識別情報。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	利用券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	<p>「利用券整理番号」に対応する文字列。数字 11 桁固定。</p> <p>年度(西暦下 2 桁*1)+種別(1 桁*2*4)+識別番号 (8 桁*3)</p> <p>*1 特定保健指導の基になった特定健診の実施年度を記載する。</p> <p>*2 保健指導に利用券を交付している場合で、積極的支援の場合は「2」、動機付け支援の場合は「3」、動機付け支援相当の場合は「4」を記載する。また、特定健診当日から 1 週間後まで（健診実施日を 0 日として 7 日後まで。例えば月曜日に特定健診を受診した場合は、健診当日から次の月曜日まで）に特定保健指導の初回面接を実施した場合、受診券の整理番号（種別番号「5」）を記載する。</p> <p>*3 保健指導に利用券を交付していない場合は、8 桁を全て「0」として記載する。</p> <p>*4 保健指導に利用券を交付していない場合で、積極的支援の場合は「2」、動機付け支援の場合は「3」、「動機付け支援相当」の場合は「4」を記載する。</p>	1..1	M
9.6.2	@root	<p>本来は利用券整理番号のための OID を設定する属性であるが、本仕様では省略する。</p> <p>属性が出現しない</p> <p>保健指導機関情報から受領するファイルには OID が設定されており、その OID には利用券を発行した保険者番号が含まれているため、OID を削除することが必要である。</p>	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	<p>利用券を発行した保険者の保険者情報</p> <p>要素が出現しない</p>	0	X

受診券と利用券情報の XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<ClinicalDocument>
...
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 受診券整理番号 -->
<id extension="11123344551" />
  </associatedEntity>
</participant>

<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 利用券整理番号 -->
<id extension="11323344552" />
  </associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>

```

3.2.3.5 保健指導実施情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。
- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・「実施日」もしくは「実施年月日」は保健指導の実施年月日として国への実績報告書に記述すべき日付を厚生労働省通知に従い設定する。
- ・プログラムサービスコードとして
「/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/code/@code」には「100」を設定する。
- ・保健指導実施機関には、行動計画の実績評価を行った実施機関の情報を記録する。
※途中終了の場合は、初回面接を行った実施機関の情報とする。
- ・保健指導実施情報に含まれる項目の内、以下の項目は出現させない。
 - 1) 保健指導実施機関電話番号 (XML仕様 No:10.10.1)
 - 2) 保健指導実施機関住所 (XML仕様 No:10.11.1)
 - 3) 保健指導実施機関郵便番号 (XML仕様 No:10.12.1)

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

※3. 3節以降では、原則として健診実績報告仕様書とすべて異なるため、相違部分を太字または下線などの方法で示してない。

ボディ部には、特定保健指導の報告で定められた実施情報（計画情報を含む）が含まれ、指導共通情報、指導初回①情報、指導初回情報、最終評価情報、指導集計情報、指導機関情報セクションの各セクションにわけて記録する。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエン트리（Entry）記述ブロックから構成される。

説明ブロックは、section 要素内の text 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、text 要素にすべての項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエン트리記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では text 要素には指導共通情報セクションにおいてのみ限定された少数の項目だけを記述するものとし、その他のセクションでは値を持たない空 text エレメントとする。

一方、エン트리記述ブロックは、section 要素の子要素となる entry 要素の繰り返しで記述する。section 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す code 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 13 に示す。

セクションコード体系の OID は「1.2.392.200119.6.1010」である。

表 13 保健指導データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
90010	指導共通情報セクション	保健指導区分・行動変容ステージ
90020	指導初回①情報セクション	初回面接①実施情報 継続的支援予定期間
90030	指導初回情報セクション	初回面接実施情報※ 継続的支援予定期間
90060	最終評価情報セクション	最終評価情報（実績評価情報）
90070	指導集計情報セクション	計画上の集計情報 実施済み集計情報
90080	指導機関情報セクション	指導機関情報

※ 初回面接を分割して実施した場合、初回面接②実施情報が設定される

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

ボディ部の XML 仕様を表 14 に示す。

表 14 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように 1 個以上の要素が存在する。	1..*	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.2～3.3.7 節。	1..1	M

以下にボディ部の XML サンプルを示す。各セクションの詳細は、3.3.2 節から 3.3.7 節にそれぞれ示す。

```

<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 健診情報、保健指導情報-->
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <!-- 指導共通情報セクション-->
        </section>
      </component>

      <component>
        <section>
          <!-- 指導初回情報セクション -->
        </section>
      </component>

      :

    </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.1 保健指導報告区分とCDA セクションの関係

保健指導の報告時点の違いにより下記のようなセクションが組み合わされて使用される。それと対応する報告区分等との関係は表 15 のようになる。

本表はセクションの必須か任意かを示すものであり、そのセクションに格納される個々の項目が必須か任意かについては、厚労省通知に従うこと。

表 15 保健指導区分とセクションの関係

使用されるセクション(セクションコード)	番号	完了報告時 動機付け支援	完了報告時 積極的支援※1	途中終了確定時 動機付け支援	途中終了確定時 積極的支援※1
		報告区分 コード=22	報告区分 コード=22	報告区分 コード=23	報告区分 コード=23
指導共通情報(90010)	1101~1107	必須	必須	必須	必須
指導初回①情報(90020)	1301~1306	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須
	1331~1345				
指導初回情報(90030)	1301~1306	必須	必須	必須	必須
	1331~1345				
最終評価情報(90060)	1601~1616	必須	必須	不要	不要
指導集計情報(90070)	1701~1713	不要※3	必須※2	不要※3	必須※2
	1731~1745	不要※3	必須※2	不要※3	必須※4
指導機関情報(90080)	1811~(1884)	必須	必須	必須	必須

※1 動機付け支援相当を含む

※2 動機付け支援相当の場合は任意

※3 動機付け支援だが、契約により継続的な支援の実施及び保険者への報告が求められている場合(積極的支援に準じた継続的支援を実施する場合は)、報告しても差し支えない(あえて情報を削除する作業を行う必要はない)。

※4 継続的な支援を全く実施しなかった場合は出現不要

(補足) 初回面接①後に資格喪失による利用停止・脱落等による途中終了時報告となる場合、保険者へ報告区分コード=25で報告を行うが初回未完了の扱いのため、実績報告の報告対象外となることから実績報告において報告区分コード=25は使用しない。

なお、XMLファイル内でのセクションの出現順序は任意である。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2 指導共通情報セクション

3.3.2.1 セクション部仕様

※ 本セクションは常に存在する。

指導共通情報セクションは、「XML 用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリにおける保健指導区分（項目コード 1020000001）、行動変容ステージ（項目コード 1020000002）、健診実施年月日（確認用）（項目コード 1020000004）、および保健指導後服薬 1～3（項目コード 1020000005～1020000007）の 6 項目を格納するセクションである。人が解釈するための説明ブロックと、各項目に対応する機械可読表現である 1 個の **entry** 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「**90010**」を指定する。

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 16 に示す。

表 16 指導共通情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導共通情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「 90010 」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「 1.2.392.200119.6.1010 」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「 指導共通情報セクション 」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	指導共通情報セクションの機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導共通情報セクション"/>
  <text>
    <!-- 指導共通情報セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 指導共通情報セクション 機械可読記述 (1つの entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

指導共通情報セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、項目とその値を表現する。各項目に対して、1つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「**項目名 値（表示用テキスト）**」（項目名と値の間の空白は半角スペース）とする。

またなんらかの理由により値を設定できない場合は、「項目名」だけとする。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 17 に掲げた項目だけに限定するものとする。またこれらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも text 要素は必須である。

表 17 指導共通情報項目説明ブロック仕様

No	項目名	値(表示用テキスト)
1101	保健指導区分	「積極的支援」、「動機付け支援」「動機付け支援相当」
1102	行動変容ステージ	「意志なし」「意志あり(6か月以内)」「意志あり(近いうち)」「取組済み(6ヶ月未満)」「取組済み(6ヶ月以上)」

表 18 指導共通情報セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
11.6.1	list	説明ブロック 項目リスト	0..1	O
11.6.2	list/item	項目	1..2	M
11.6.2.1	text()	項目名と項目内容を表すテキスト。書式は「 項目名 値(表示用テキスト) 」(項目名と値の間の空白は半角スペース)	1..1	M

text 記述する例

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="指導共通情報セクション" />
  <text>
    <list>
      <item>保健指導区分 積極的支援</item>
      <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3 エントリ部仕様

指導共通情報セクションに含まれる項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリを参照すること。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「保健指導コース名」（項目コード 1020000003）が付与されている場合があるので、これを削除すること。また、「健診実施年月日(確認用)」（項目コード 1020000004）は記載が無い場合や誤りの可能性があるため、保険者が必要に応じて保管・修正すること。

指導共通情報セクションのXML仕様を表19に示す。

表19 指導共通情報セクションのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	act ブロックのコード	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記に引き続き、以下の entryRelationship ブロックを「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリの計2～6項目分だけ繰り返す。報告しない項目の entryRelationship ブロックは出現しない。

No	XPath	説明	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/act/		1..1	M
11.10	entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	2..6	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	entryRelationship/observation	個々の実施項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。「1.2.392.200119.6.1006」を記述するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.12.3	@displayName	保健指導項目名。または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用特定保健指導項目情報」のXMLデータ型を設定。コード値の場合は「CD」を設定。健診実施年月日(確認用)の場合は、文字列型「ST」を設定する。	1..1	M
11.13.5	@code	報告すべき結果コード値を設定。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.13.6	@codeSystem	「XML 用特定保健指導項目情報」の「コード表 OID の値を設定。	0..1	0
11.13.7	text()	健診実施年月日(確認用)の値 YYYYMMDD	0..1	0

指導共通情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導共通情報セクション"/>
    <text>
      <list>
        <item>保健指導区分 積極的支援</item>
        <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 保健指導区分 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000001"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1112"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--行動変容ステージ（初回面接時）-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000002"/>
            <value xsi:type="CD" code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.3002"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--健診実施年月日(確認用)-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000004"/>
            <value xsi:type="ST">20240922</value>保険者が補完・修正すること
          </observation>
        </entryRelationship>
        <!--以下は保健指導後に服薬が判明した場合のみの例-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--保健指導後 服薬1（血圧）-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000005"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24030"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.3 指導初回①情報セクション

3.3.3.1 セクション部仕様

※ 平成30年度より指導初回①情報セクションが追加となっているため注意

指導初回①情報セクションは、初回面接を分割実施している場合のみ出現する。初回面接①実施時の項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「初回面接実施情報」エントリと「保健指導計画情報」エントリを参照すること（ただし、健診後早期の初回面接（項目コード1022000016）は指導初回①情報セクションに出現させてはいけない）。人が解釈するための説明ブロックはtext要素として存在するが値を持たない。entry要素を含む。セクションコードにはCDAセクションコードのうち「90020」を指定する。

指導初回①情報セクションのXML仕様を表20に示す。

表20 指導初回①情報セクションXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導初回情報データCDAセクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90020」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示すOID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導初回①情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	初回面接実施情報を格納するentry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	保健指導計画情報を格納するentry 積極的支援時には必須。	0..1	O

指導初回①情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回①情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.3.2 初回面接①実施情報エントリ仕様

指導初回①情報セクションに含まれるエントリは初回面接①実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。

また、保健指導計画情報エントリは省略可となる。初回面接を分割実施しない場合には、指導初回①情報セクション自体が存在しないことになる。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「初回面接情報」（項目コード 1022000090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

初回面接①実施情報エントリのXML仕様を表 21 に示す。

表 21 初回面接①実施情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	初回面接の支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	初回面接の支援形態（項目番号 1302）のコード値の中から「1:個別支援（対面）」「2:個別支援（遠隔）」「3:グループ支援（対面）」「4:グループ支援（遠隔）」のいずれかを設定。 なお、初回面接を分割実施している場合の初回面接②に限り、「5:電話」及び「6:電子メール」も設定可能。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	初回面接時の支援形態のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	初回面接の実施日（項目番号 1301）の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	初回面接を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	初回面接を実施した者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」でないことに注意。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者（項目番号 1305）のコード（医師=1など）	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 ここでは、初回面接実施時間の項目コード「1022000013」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/observation/effectiveTime	保健指導の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/observation/effectiveTime/width	保健指導の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)	1..1	M
11.18.2	@unit	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、初回面接①実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セクション" />
  </section>
  <text/>
  <entry>
    <!-- 初回面接①実施情報 -->
    <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
      <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援（対面）（項目コード:1022000012） -->
      <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010" />
      <!-- 初回面接の実施日付（項目コード:1022000011） -->
      <effectiveTime value="20240720"/>
      <performer>
        <assignedEntity>
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師（項目コード:1022000015） -->
          <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020" />
        </assignedEntity>
      </performer>
      <entryRelationship typeCode="COMP">
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <!-- 初回面接の実施時間（項目コード:1022000013） -->
          <code code="1022000013" />
          <effectiveTime>
            <width value="30" unit="min"/>
          </effectiveTime>
        </observation>
      </entryRelationship>
    </act>
  </entry>
  :
</section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.3.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。指導初回①情報セクションにおいて、本エントリは任意である。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表22に示す（行Noは再掲）。

表22 保健指導計画情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..1	O
11.8	act	保健指導計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。本エントリが計画情報であるという理由による。	1..1	M
11.9	act/code	保健指導計画のアクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、保健指導計画に関する項目について下記の表23（行Noは再掲）のact/entryRelationshipにより記述する。

表23 保健指導計画情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 コード値の場合:「CD」 文字列の場合:「ST」 数値型の場合:「PQ」 整数型の場合:「INT」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、「XML用保健指導項目情	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		報」のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。		
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.3	@unit	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML 用保健指導項目情報」のXML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セク
シヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接①実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.4 指導初回情報セクション

3.3.4.1 セクション部仕様

指導初回情報セクションは、初回面接を分割実施している場合は「初回面接②実施情報」を報告する際、初回面接を分割実施していない場合は「初回面接実施情報」を報告する際に表現される。項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「初回面接実施情報」エントリと「保健指導計画情報」エントリを参照すること。健診後早期の初回面接（項目コード1022000016）は本セクションに設定すること。人が解釈するための説明ブロックはtext要素として存在するが値を持たない。entry要素を含む。セクションコードにはCDAセクションコードのうち「90030」を指定する。

指導初回情報セクションのXML仕様はセクションコードおよびセクションコードの表示名を除いて、表20と同一仕様。（指導初回情報セクションの場合、セクションコード(表20 No11.4.1)は「90030」、セクションコードの表示名(表20 No11.4.3)は「指導初回情報セクション」)

指導初回情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

3.3.4.2 初回面接実施情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリは初回面接実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。動機付け支援では、初回面接実施情報エントリだけからなる。※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「初回面接情報」（項目コード1022000090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

初回面接実施情報エントリのXML仕様は、初回面接の支援形態におけるコード値※を除いて、表21と同一仕様。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

- ※初回面接の支援形態(表 21 No11.9.1)におけるコード値は以下のとおり設定する
- ・初回面接を分割して実施している場合
「1：個別支援（対面）」～「6：電子メール等」のいずれかを設定する
 - ・初回面接を分割して実施していない場合
「1：個別支援（対面）」～「4：グループ支援（遠隔）」のいずれかを設定する

以上の仕様にもとづき、初回面接実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援(対面) (項目コード:1022000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24080"/>
        <!-- 初回面接の実施日付 (項目コード:1022000011) -->
        <effectiveTime value="20240720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師 (項目コード:1022000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間(項目コード:1022000013) -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 健診後早期の初回面接(項目コード:1022000016) -->
            <code code="1022000016"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24070"/>
          </entryRelationship>
        </act>
      </entry>
    :
  </section>
</component>

```


特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.4.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。このエントリは動機付け支援以外の場合に出現し、積極的支援の場合には必須である。なお、動機付け支援相当の場合は、情報を入手した場合のみ出現させる。

保健指導計画情報エントリのXML仕様は表 22 と同一。

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
          <entryRelationship typeCode="COMP">
            <!-- 計画上の腹囲・体重の改善 -->
            <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
              <code code="1021001053"/>
              <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24090/>
            </observation>
          </entryRelationship>
          <entryRelationship typeCode="COMP">
            <!-- 計画上の生活習慣の改善(食習慣) -->
            <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
              <code code="1021001054"/>
              <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24100/>
            </observation>
          </entryRelationship>
          :
        </act>
      </entry>
    </section>
  </component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.5 指導集計情報セクション

3.3.5.1 セクション部仕様

- ※ 動機付け支援では本セクションは出現しない。
- ※ 積極的支援では必ず出現する。
 なお、動機付け支援相当の場合、情報を入手した場合に報告対象となることから本セクションは任意とする
- ※ 保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。
- ※ 実施していない形態については、出現させなくても良い。

指導集計情報セクションは、計画段階での集計的な情報および実績報告時の集計的な情報をそれぞれ異なるエントリで記述する。

積極的支援では、本セクションが必ず出現し、計画上の集計情報に関するエントリと実施上の集計情報のエントリの2つが必ず出現する。

各エントリの説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。本セクションコードには CDA セクションコードのうち「90070」を指定する。

項目は「XML 用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリと「実施上の集計情報」エントリを参照すること。

指導集計情報セクションの XML 仕様を表 25 に示す。

表 25 指導集計情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90070」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導集計情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1]	計画段階の集計情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	実施上の集計情報を格納する entry	1..1	M

指導集計情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```
<section>
  <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導集計情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 計画上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 実施上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.5.2 計画上の集計情報エントリおよび実施上の集計情報エントリの仕様

計画上の集計情報エントリと実施上の（実施済みの）集計情報エントリの両方を格納する。両者の基本構造は同一であり、異なる点は1）格納すべき報告項目が「XML用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリと「実施上の集計情報」エントリで示すように一部項目が異なること、2）計画と実施のエントリの区別が表26のXML仕様No.11.8.2で示されるmoodCode、および同表XML仕様No.11.14.2で示されるmoodCodeが、計画上の集計情報の場合には計画を意味する「INT」であるのに対して、実施上の集計情報の場合には結果を意味する「EVN」となることにより記述されることである。

以下の説明ではこのエントリに格納される報告項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供される「XML用保健指導項目情報」を参照すること。

集計情報エントリのXML仕様を表26に示す（行Noは再掲）。

表26 集計情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		2..2	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	アクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、集計情報に関する報告項目について下記の表27（行Noは再掲）の

act/entryRelationship の繰り返しで記述する。

なお表27において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> から提供される「XML用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表27 集計情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導情報項目の1項目分のブロック情報	1..18	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導情報項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」 支援の終了日は、文字列型「ST」とする。	1..1	M
11.13.5	@code	属性が出現しない	0	X
11.13.6	@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML用保健指導項目情報」のXML用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、集計情報エントリのXMLサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導集計情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 計画段階の集計情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <!--act/codeを設定-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援(対面) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041010010"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援(対面) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041020010"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔)) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041010040"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(遠隔)) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041020040"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      :
    </act>
  </entry>
  :
  次ページのサンプルに続く

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

前記サンプルに続く、実施結果の集計情報セクションのサンプルの抜粋は以下のとおりである。実施上の継続的な支援の終了日も他のデータ項目と同様にvalue要素で記述する。

```

:
<entry>
  <!-- 実施上の集計情報 -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <code nullFlavor="NA" />
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 継続的な支援の実施回数(個別支援(対面)) 1回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042010010" />
        <value xsi:type="INT" value="1" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 継続的なポイント(プロセス評価の合計) 140ポイント -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042010070" />
        <value xsi:type="INT" value="140" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 禁煙の指導回数 1回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042800118" />
        <value xsi:type="INT" value="1" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 実施上の継続的な支援の終了日 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000022" />
        <value xsi:type="ST">20250120</value>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>
</section>
</component>

```


特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.6 最終評価情報セクション

3.3.6.1 セクション部仕様

※本仕様では中間評価情報セクションは存在しない。
 ※保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。

最終評価情報セクションは、特定保健指導の実績評価を実施（または実施しようとした）情報を格納するものであり、ひとつのエントリで構成される。

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち、最終評価情報セクション「90060」を指定する。項目は「XML 用特定保健指導項目情報」の「実績評価情報」エントリを参照すること。

最終評価情報セクションの XML 仕様を表 30 に示す。

表 30 評価情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	最終評価情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	最終評価情報セクションでは「90060」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「最終評価情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry	最終評価情報を格納する entry	1..1	M

最終評価情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="最終評価情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 最終評価の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

3.3.6.2 最終評価情報エントリ仕様

最終評価情報セクションに含まれるエントリは最終評価情報エントリのひとつだけである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

最終評価情報エントリの XML 仕様を表 31（XML 仕様 NO は一部再掲）に示す。
 ※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「実績評価情報」（項目コード 1042001090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

表 31 最終評価情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	最終評価情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	実績評価の支援形態または確認方法	1..1	M
11.9.1	@code	「XML 用特定保健指導項目情報」の項目番号 1602 を格納する。 1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	OID「1.2.392.200119.6.24010」を設定する。	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実績評価の実施日付	1..1	M
11.14.1	@value	実績評価実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	実績評価の実施者に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	実績評価の実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	「XML 用特定保健指導項目情報」の項目番号 1603 を格納する。 実績評価の実施者のコード 「1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他」のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実績評価の実施者のコードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	評価実施機関情報	0..1	O
11.19.1	id/@extension	実施機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.4	name/text()	実施機関の名称	1..1	M

上記について、実績評価情報に関する報告項目のうち「XML 用保健指導項目情報」の番号 1604～1615 の 11 項目について下記の表 31（行 No は再掲）の act/entryRelationship の繰り返しにより記述する。番号 1601～1603 の 3 項目（実績評価の実施日付、実績評価の支援形態又は確認方法、実績評価の実施者）については、表 31 の各要素等により格納されている。また、番号 1607, 1608（実績評価時の収縮期血圧、実績評価時の拡張期血圧）の 2 項目は情報を入手した場合には格納することとなっている。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

なお表 31 において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> から提供される「XML 用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表 31 評価情報エントリの XML 仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	評価情報項目の 1 項目分のブロック情報	5.8	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、報告すべきコード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。XML 用保健指導項目情報のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、XML 用保健指導項目情報の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、最終評価情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="最終評価情報セクション"/>
    <text />
    <!--最終評価-->
    <entry>
      <!-- 最終評価実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!--実績評価の支援形態 -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
        <!--実績評価の実施日付：2024年10月20日-->
        <effectiveTime value="20241020"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!--実績評価の実施者(項目コード:1032000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--実績評価時の腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--実績評価時の体重 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001032"/>
            <value xsi:type="PQ" value="77.0" unit="kg"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--実績評価時の保健指導による生活習慣の改善(運動習慣) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001041"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24100"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.7 指導機関情報セクション

3.3.7.1 セクション部仕様

※ 保健指導を委託している場合、保健指導情報ファイル中の指導初回①情報セクション、指導初回情報セクション、継続支援情報セクション、中間評価セクション、最終評価セクションから保険者側で生成する。

※ 保険者直営実施の場合においても必ず存在する。

保健指導情報ファイルに出現する保健指導区分と各セクションの関係を下記に示す。

セクション(セクションコード)	動機付け支援	積極的支援	動機付け支援相当
指導初回①情報セクション(90020)	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須
指導初回情報セクション(90030)	必須	必須	必須
継続支援情報セクション(90040)	任意	必須	任意
中間評価セクション(90050)	任意	任意	任意
最終評価セクション(90060)	出現する	出現する	出現する

指導機関情報セクションでは、初回面接（初回面接①、初回面接②含む）、中間評価、継続支援、実績評価を実施した特定保健指導機関（直営の場合を含む）に関する情報、支援形態（主対応内容）、実施内容を、ひとつの実施機関について一つの指導機関情報エントリで記述する。

実施内容が継続支援の場合において、ひとつの実施機関が、複数の異なる支援形態（1：個別支援(対面)、2：個別支援(遠隔)、3：グループ支援(対面)、4：グループ支援(遠隔)、5：電話、6：電子メール等）を実施した場合は、この支援形態コードが最も小さい（若い）支援形態を主たる支援形態として採用することとし、その他の支援形態は格納しない。

たとえば、指導機関Aが1：個別支援(対面)、3：グループ支援(対面)の両方を実施した場合には、実施機関は「指導機関A」、支援形態（主対応内容）は「1：個別支援(対面)」とみなして記述する。

異なる複数の機関により継続的な支援（中間評価を実施した継続的な支援を含む）が実施された場合には、異なる指導機関の数だけ委託先情報エントリが繰り返される。

繰り返しの最大回数に制限を設けないこととし、実施した機関数分の情報を出力する。

ひとつの指導機関情報エントリには「XML用特定保健指導項目情報」の「実施機関情報」エントリの項目情報が表現される。

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90080」を指定する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

指導機関情報セクションの XML 仕様を表 33 に示す。

表 33 指導機関情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導機関情報 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90080」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。 「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「委託先情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1..]	実施情報を格納する指導機関情報エントリ	1..*	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

指導機関情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90080" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導機関情報セクション"/>
  <text />

  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  : くりかえし
  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  : くりかえし
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.7.2 指導機関情報エントリ仕様

指導機関情報セクションに含まれる指導機関情報エントリは、異なる実施機関と実施内容の組み合わせごとに1個出現する。同一の実施機関と実施内容の組み合わせで指導機関情報エントリが複数出現してはならない。

同エントリのXML仕様を表34（XML仕様NOは一部再掲）に示す。

表 34 指導機関情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..*	M
11.8	act	保健指導機関での実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態(主対応内容を設定)	1..1	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値 1:個別支援(対面)、2:個別支援(遠隔)、3:グループ支援(対面)、4:グループ支援(遠隔)、5:電話、6:電子メール等	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	対応内容区分のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	支援の実施日 要素が出現しない	0	X
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者(指導機関情報のみを設定)	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	属性が出現しない	0	X
11.16.3	code/@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	指導機関情報	1..1	M
11.19.1	id/@extension	実施機関番号 実施機関番号がない場合には 属性 extension は出現しない。	0..1	O
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」 実施機関番号がない場合には 属性 root は出現しない。	0..1	O
11.19.3	id/@nullFlavor	実施機関番号がない場合にのみ 属性 nullFlavor が出現し、属性値として「NI」を設定。「NA」ではない。	0..1	O
11.19.4	name/text()	指導実施機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	指導機関情報項目(実施内容を設定)	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード「1042000086」を設定	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。	1..1	M
11.13.5	@code	実施内容のコード値 1: 初回面接（分割実施以外）、2: 初回面接①、3: 初回面接②、4: 中間評価、5: 継続的支援、6: 実績評価	1..1	M
11.13.6	@codeSystem	「実施内容」のOID「1.2.392.200119.6.18150」を設定	1..1	M

以上の仕様にもとづき、指導機関情報エントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 1） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：グループ支援(対面)-->
    <code code="3" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <!-- 実施内容：初回面接（分割実施以外） -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>
<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 2） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：電話 -->
    <code code="5" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号はない -->
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>神宮保健指導センター B</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <!-- 実施内容：実績評価 -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="6" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

4. OID 表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班